

当日は、町内外から集まった174名の小中学生に指導を行いました。

開会式では、重松省三氏から、「皆さんがこれから先、長い間野球を楽しむためには、今のうちに基本をしっかり身につけることが大事です。各担当コーチの指示に従って、正しい体の使い方を覚えてください。」とあいさつがあったあと、ピッチャー、キャッチャー、内野手、外野手の4部門に分かれ、指導が行われました。

それぞれ自分のポジションの部門に分かれた子どもたちは、緊張からかはじめこそ動きが固かったものの、次第に自分の動きができるようになり、いきいきとプレーしていました。

時折、子どもたちを集め、細かい指導や、実際にOBの選手が動きで教える場面があり、子どもたちのみならず、引率で来ていたチームの指導者や保護者も真剣に耳を傾け聞き入っていました。

部門ごとの守備練習のあと、休憩をはさみ、バッティングの練習がありました。ここでは、石毛先生が投手となり、何名かの子どもたちが打席に立ちました。

見事打ち返すと、会場から「おおー」と歓声が上がると大変盛り上がり、参加者全員がさわやかな汗を流しました。

